

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 局所進行直腸癌における total neoadjuvant therapy (TNT)抵抗因子に関する研究

研究の目的

現在、局所進行直腸癌の手術前治療として TNT が施行される症例が増加しておりますが、効果不良症例をしばしば認めます。そこで我々は、TNT の効果良好例と効果不良例の腫瘍の遺伝子的な差に着目し、治療抵抗性に関与する遺伝子を同定することで更なる予後の改善を目指しております。

なお TNT とは、放射線治療と化学療法（抗癌剤治療）を組み合わせた治療の総称です。

研究実施期間： 実施許可日～ 令和 12 年 3 月 31 日

対象となる方： 2020 年 4 月から 2028 年 3 月までの期間において、治療前診断で直腸癌 StageII および III と診断され、当院当科紹介となり術前治療として TNT を行った症例を対象とする。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査などの臨床所見、手術関連情報、生検および切除直腸の病理所見や蛋白発現、リボ核酸（RNA）発現などについて、標記研究のために利用します。また既存試料として、生検及び手術での切除標本を使用いたします。腫瘍細胞における術前治療抵抗因子の同定方法として、他研究の既存知見の応用や空間プロファイリング解析などを行う予定です。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

消化器外科学講座・笠井大貴

連絡先 0172-39-5079（弘前大学大学院医学研究消化器外科学講座）